自己肯定感を高める授業のあり方

～性教育の実践から～

 高知大学教育学部附属特別支援学校　教諭　中尾　隆文

　知的障害特別支援学校における性教育の実践を通して、自己肯定感を高める授業のあり方について検討する。昨年度の高知県心の教育センター研究員制度で取り組んだ「豊かな心を育む保健学習のあり方」の成果と課題を踏まえ、ここでは、生徒へのアンケートや授業におけるグループワークの記録や感想文、授業のビデオを通した行動観察などから、自己肯定感の育ちを検証した。生徒が安心できる授業の場、分かりやすい授業構成、視覚教材を用いることの重要性が見られた。また、生徒同士の話し合いが心の育ちへとつながっていること、教員が生徒を肯定的に受け止め評価することが、自己肯定感を高めていく上で重要であると考えられた。

キーワード：知的障害児　自己肯定感　性教育　肯定的評価